

第6回大和川清流復活ネットワーク会議

日時：平成23年11月16日 15:00～

場所：流域下水道センター

次 第

1. 開会

2. 出席者の紹介

3. 議事

- ・ 大和川の水質状況について 資料1～2参照
- ・ 重点対策支川について 資料3参照
- ・ 取り組み報告等について 資料4～6参照
- ・ 活動事例報告について 資料7～8参照

大和信用金庫CSR委員会
NPO法人ASUKA自然塾

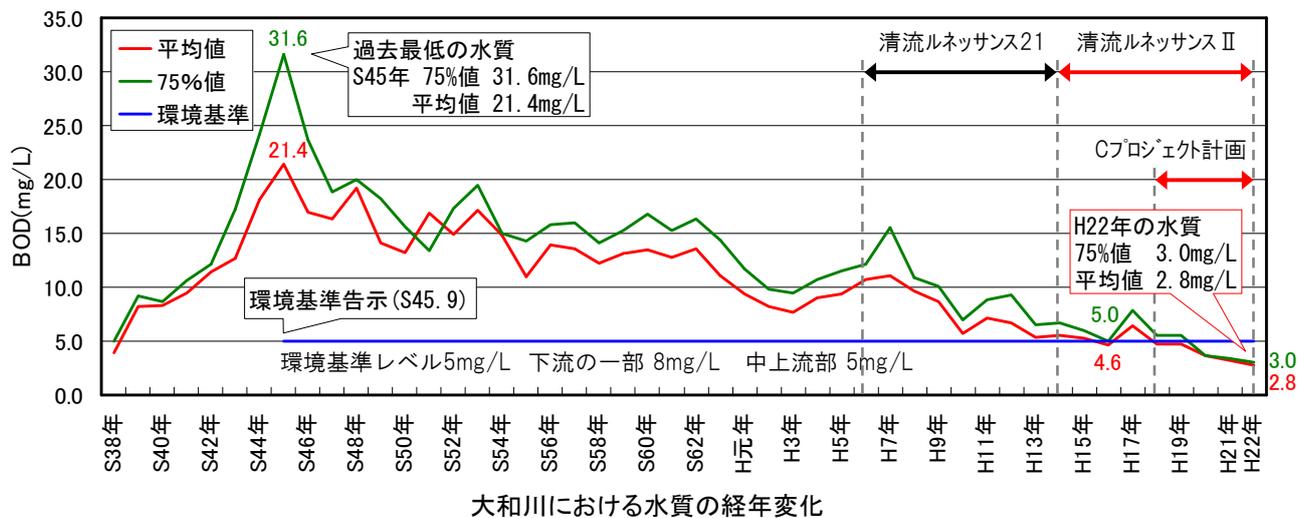
4. 意見交換

5. 閉会

大和川の水質改善について

国土交通省 大和川河川事務所

大和川の水質現況

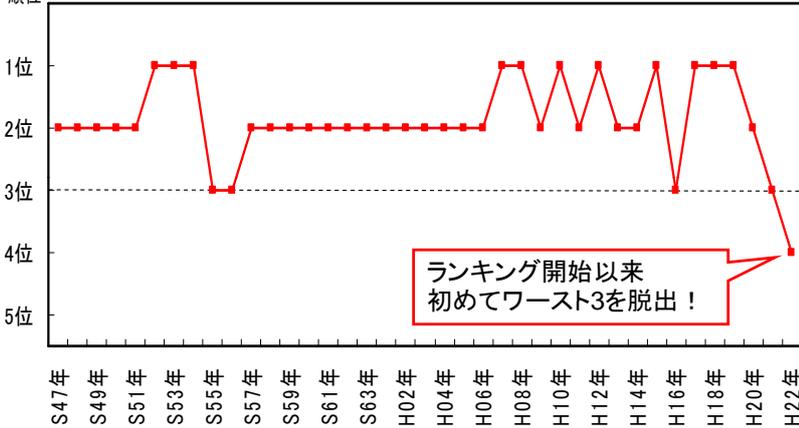


大和川の水質現況

●全国一級河川の水質現況(大和川本川の水質ワーストランキング)

ワースト順位

—●— 大和川(本川)



大和川ワースト3脱出

水質ランク公表39年で初

●全国1級河川水質ランキングのワースト5の要領

順位	2009年	07年	08年	09年	10年
1	大和川(大阪)	大和川(大和)	大和川(和歌山)	大和川(奈良)	大和川(和歌山)
2	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)
3	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)
4	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)
5	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)	大和川(和歌山)

国交通省は2010年の全国一級河川水質ランキングを公表して大和川(和歌山)が最下位から4番目になり、公表が開始した1977年以降初めてワースト3を脱出した。水質の改善を示すBOD(生物学的酸素要求量)の年平均値は約1.8mg/Lで、過去最低水準を記録した。また、水質改善に向けた取り組みが評価され、国土交通省は「水質改善先進地」に大和川(和歌山)を選定した。

読売新聞(H23.7.29)

●公共用水域水質測定結果(大和川支川の水質ワーストランキング)

順位	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	水域名	都道府県名	BOD平均値	水域名	都道府県名	BOD平均値	水域名	都道府県名	BOD平均値	水域名	都道府県名	BOD平均値	水域名	都道府県名	BOD平均値
1	報得川	沖縄	15	南部川(古川)	和歌山	18	春木川	千葉	12	菩提川	奈良	12	松田川下流	栃木	15
2	春木川	千葉	14	菩提川	奈良	13	見出川	大阪	12	牛津江川下流	佐賀	10	西除川(2)	大阪	11
3	大門川	和歌山	13	報得川	沖縄	13	菩提川	奈良	11	春木川	千葉	9.7	春木川	千葉	10
4	見出川	大阪	12	春木川	千葉	12	葛川	神奈川	10	勢田川全域	三重	9.3	国分川	千葉	9.2
5	鶴生田川	群馬	10	見出川	大阪	12	大門川	和歌山	9.7	松田川下流	栃木	9.1	猪名川下流(2)	大阪、兵庫	8
	国分川	千葉	10	大門川	和歌山	12									
	南部川(古川)	和歌山	10												

■ : 奈良県域の大和川支川 ■ : 大阪府域の大和川支川

Cプロジェクト計画2006(水環境編)の取り組み

目標

- >年間を通して良好な水環境
- >夏期に水遊びができるような水環境の確保
- >子どもたちが水しぶきをあげながらいきいきと遊ぶことのできる水辺環境の創出
- >水道水源として利用できるような水環境の確保
- >水量感のある豊かな水環境
- >ホテルなど多様な動植物が生息・生育できるような河川環境の保全・再生・創出
- >人々が水辺に親しめる河川環境の創出 等

- >3~5mg/L(75%値)・・・環境基準の早期達成
- >3mg/L(夏期)・・・水遊び
- >2mg/L(盛夏)・・・水しぶきをあげて遊ぶ
- >3mg/L(概ね通年)・・・水道水源

施策

発生源対策

(水を大切に使う意識の普及啓発等に関する施策)

- ◇情報発信 (生活排水対策・河川愛護等)
- ◇行政連携・住民参加 (環境教育やパートナーシップ、調査研究等)
- ◇自立支援 (人づくり、しくみづくり等)
- ◇行政の主体的行動 (水質事故の未然防止、水質監視等)

汚濁負荷削減対策

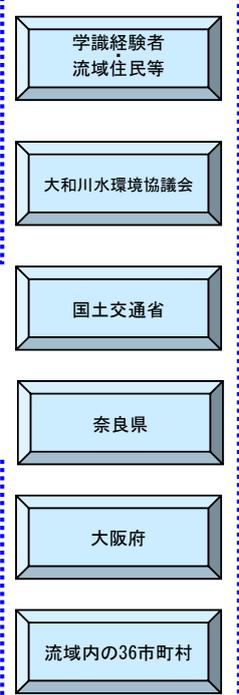
(発生した汚濁負荷削減対策に関する施策)

- ◇下水道の整備
- ◇下水道接続の促進
- ◇下水処理場における高度処理の推進
- ◇合併処理浄化槽の整備推進
- ◇単独処理浄化槽等の転換
- ◇河川浄化施設の整備
- ◇既存施設の適切な維持管理の推進等

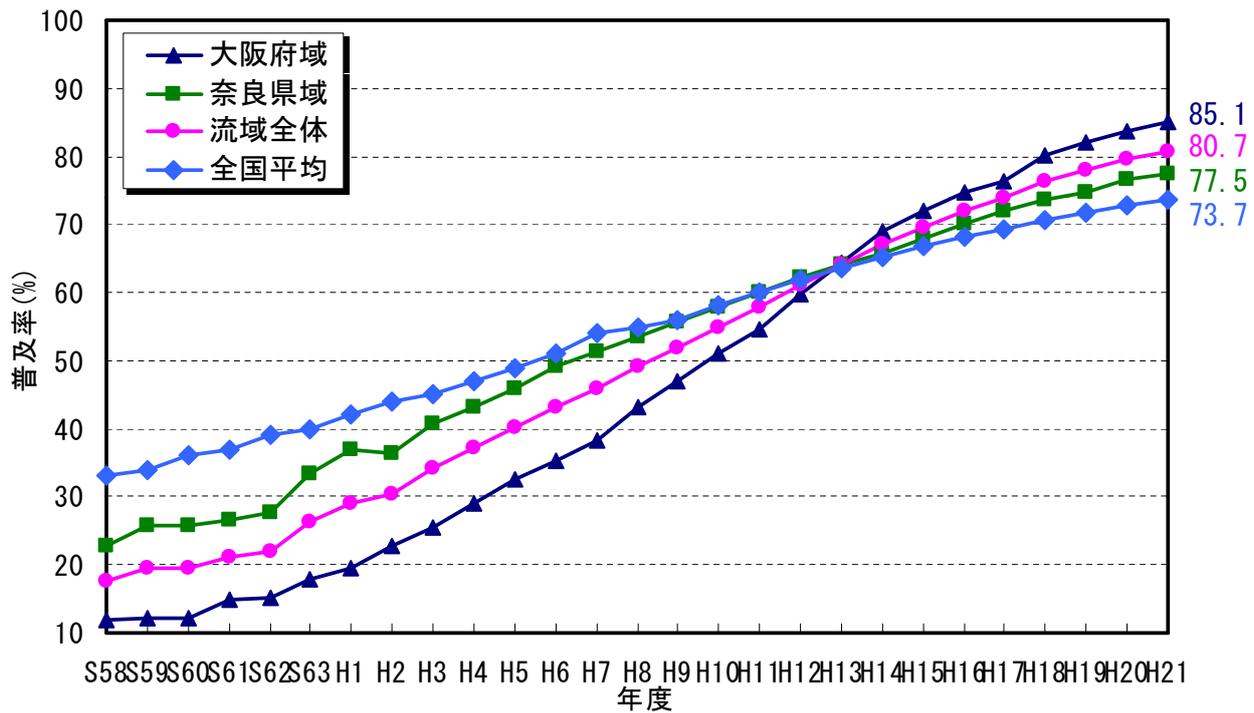
河川の本来機能再生対策

(河川をよみがえらせる施策)

- ◇流域住民と河川管理者のパートナーシップの促進
- ◇河川が本来有する自浄作用の増進
- ◇安全で快適な親水空間の創出等
- ◇多種多様な動植物の生息・生育環境の保全等
- ◇水量感のある水環境の創出
- ◇大和川らしい河川景観の創出



下水道事業



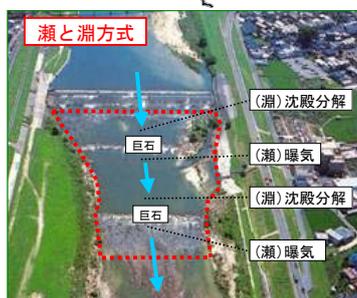
大和川流域の下水道普及率の推移

河川事業



大和川の河川浄化施設一覧

浄化方法	施設名	所在地	完成年度	
清流ルネッサンス21	瀬と淵方式	長吉長原地区浄化施設	大阪府大阪市・松原市	平成12年度
		第二運動広場地区	大阪府八尾市	平成13年度
		河川敷公園地区	大阪府藤井寺市・八尾市	平成13年度
		西運動広場浄化施設	大阪府藤井寺市・八尾市	平成13年度
		柏原地区浄化施設	大阪府藤井寺市・柏原市	平成6年度
		葛下川浄化施設	奈良県王寺町	平成15年度
清流ルネッサンスII	接触酸化方式	富雄川浄化施設	奈良県斑鳩町	平成12年度
		飛鳥川浄化施設	奈良県西御市	平成6年度
		曾我川浄化施設	奈良県西御市	平成11年度
		大和川上流浄化施設	奈良県川西町・安堵町	平成11年度
		城井井堰浄化施設	奈良県大和郡山市	平成13年度
		惣持寺樋門浄化施設	奈良県三郷町	平成17年度
Cプロジェクト	瀬と淵方式	神南樋門浄化施設	奈良県三郷町	平成16年度
		久度樋門浄化施設	奈良県王寺町	平成18年度
		南浦樋門浄化施設	奈良県斑鳩町	平成18年度
		三代川浄化施設	奈良県斑鳩町	平成19年度
		信貴川浄化施設	奈良県三郷町	平成18年度
		不毛田浄化施設	奈良県河合町	平成19年度
Cプロジェクト	瀬と淵方式	大輪地区浄化施設	奈良県河合町・斑鳩町	平成14年度
		浅香山地区浄化施設	大阪府大阪市・堺市	平成20年度
		天美・矢田地区浄化施設	大阪府大阪市	平成21年度
薄層流方式	西除川浄化施設	大阪府堺市	平成21年度	



大和川下流浄化施設(柏原地区)



曾我川浄化施設

発生源対策



アクリルタワシ講座



大和川博士講座



水生生物調査



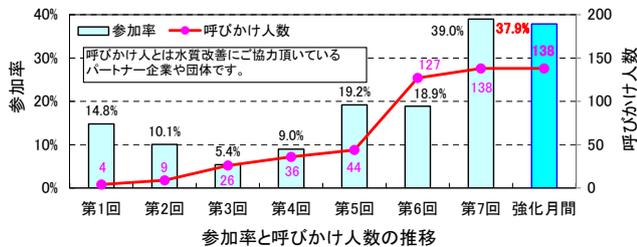
大和川【絵・作文・写真】コンクール

住民協働による水質改善

大和川の水の汚れの主な原因は生活排水です。大和川の水を少しでもキレイにすることを目的に、流域の各家庭で生活排水の汚れを減らす工夫(残さない、ふき取る、流さない等)に取り組んでもらっています。

平成17年に全国初となる流域一斉での生活排水対策社会実験を実施。平成22年までに計7回の実験を行い、家庭での取り組みが有効であることを確認しました。

平成23年からは、住民一人ひとりに日々の実践を促す、「大和川水質改善強化月間」を実施しています。



民間企業によるポスター掲示・チラシ設置



生活排水の汚れを減らす工夫への取り組み率(水質改善強化月間)



取り組みによる水質改善効果(水質改善強化月間)

アユが棲める川へ

平成17年度に研究者による天然アユの遡上
が確認されたことを受けて、平成18年度より河
川管理者によるアユ調査を実施しています。

平成22年度はアユ遡上調査において、柏原堰
堤魚道でアユ232匹を確認しました。また、仔ア
ユ降下を5年連続、産卵場所を2年連続で確認
しました。

このように、大和川はアユの棲める川にまで再
生しています。



大和川で採捕した仔アユ

H22.11.9河内橋付近にて採捕 卵の直径約1mm



大和川で採捕したアユの卵

H22.11.13吾彦大橋付近にて採捕 仔魚の体長約6mm



大和川清流復活大作戦（観測史上初のワースト3脱却）

汚名返上

観測史上初めてワースト3を脱却！

県民だより9月号
抜粋

昭和47年以降、国土交通省発表の「全国一級河川水質ランキング」でワースト3までにランクされ続け、汚い川のイメージがある大和川。しかし、近年、下水道の普及や川の斉清掃など水質改善の取り組みにより、水質は着実に改善され、ついに昨年のランキングでワースト3を脱却しました。そこで、国際文化観光都市にふさわしい大和川の清流復活に向けた具体的な取り組みを紹介します。

大和川清流復活ネットワークの設立（平成20年11月18日）

平城遷都1300年祭を契機に「ワースト3脱却」を目指し、国・県・市町村、民間団体で構成。①きめ細かな分析と対策、②情報発信、③民間との協働を3つの基本方針として取り組んでいます。

～きめ細かな対策の具体事例～

平城宮跡近傍を流れる菰川・菩提川をモデル河川として取り組みを始めました。

●菰川での取り組み

水質改善に向けて、奈良市においては下水道管の増設を行い、県では導水管を敷設し、水利組合や地域の協力のもと、佐保川の清水を導水する社会実験を実施。導水後1年間水質・水量を測定し、効果検証を行った結果、水質は大幅に改善されました。また、清掃活動の中では、汚れた川に棲まないドンコやカワニナなどの生物も見つかりました。

●菩提川での取り組み

昨年7月に地域住民により「菩提川をよごさない会」を発足。花の植栽や会のシンボルマーク入りの旗・のぼりなどを作成して水質改善への気運を高めています。

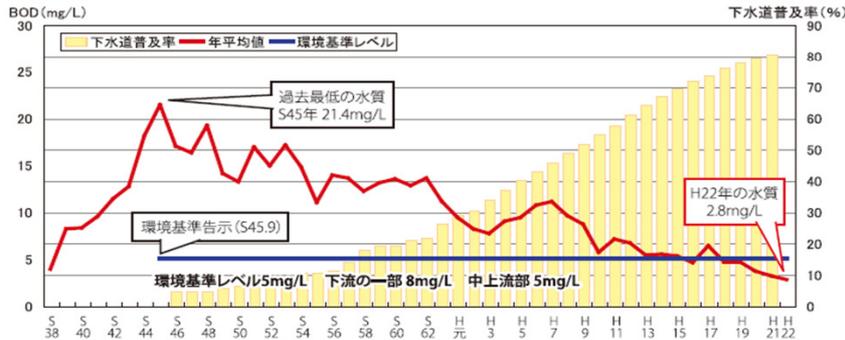
順位	河川名	BOD(※) 平均値
1	綾瀬川(埼玉・東京)	3.7
2	猪名川(大阪・兵庫)	3.3
3	中川(埼玉・東京)	3.1
4	大和川(大阪・奈良)	2.8
5	鶴見川(神奈川)	2.7

(※) 汚れを微生物が分解する時に必要とする酸素量でmg/lで表す。値が高いほど水質が悪い。

大和川の水質現況

大和川流域の下水道整備と流域住民による生活排水対策が功を奏し、平成22年には3年連続で観測史上最もきれいな水質を記録しました。

■大和川の下水道普及率と水質経年変化



22.11.3 菰川一斉清掃



ドンコ

カワニナ



23.8.8 菩提川での花の植栽

川をキレイにする 3か条

1. 食べ残し、飲み残しをせず、食器の汚れをふきとる。
2. アクリルタワシを使うなど、洗剤を減らす工夫をする。
3. ゴミを川に捨てない。

今後も大和川の水質改善に向けた県民の皆さまのご協力をお願いします。

今後に向けて

ワースト5脱却に向けて更なる取り組みを進めます。

- ・重点対策11支川を中心に、菰川、菩提川のような取組が県内各地に広がるよう情報発信していきます。
- ・下水道等の汚水処理施設への接続促進活動の強化を実施します。
- ・広く生活排水対策の実践をお願いし、HPの充実等を通じて水質改善状況等の情報発信に努めます。

重点対策支川の目標の設定

- 支川毎・市町村毎の水質の調査（42地点・21河川）
- 汚濁負荷の現状把握

現状評価 23地点（19河川）が環境基準（BOD5mg/l）を達成できていない

水質予測
シミュレーション

目標 支川毎・市町村毎に水質目標を設定し、対策を図る

23地点のうち半数の環境基準(BOD5mg/l)達成を目標とする

【今後5年間の取り組み目標】

- ・23地点毎に目標を設定する
- ・污水处理施設への接続人口を増やす
- ・単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促進
- ・家庭から出る生活排水対策
- ・河川浄化施設の適切な運用
- ・河川清掃等維持活動の推進

達成の難しい11河川を重点対策支川に設定

初瀬川・菩提川・菰川・秋篠川・地藏院川・土庫川・葛城川・
高田川・岡崎川・三代川・信貴川 計11河川

- 水質改善の取り組みの重点実施と点検を行い水質改善状況の公表を行う（つぶさに公表を行うことにより、水質改善の『見える化』を図る）

【重点取り組み事項】

- ・污水处理施設への接続促進啓発
 - ・河川愛護意識の向上にむけた水質改善イベント等の実施
 - ・河川美化活動による河川環境改善
 - ・家庭からの河川汚濁削減への啓発
- 等

水質基点42地点の目標設定内訳

初瀬川	桜井市界	6.0
布留川	布留川流末	3.0
菩提川	菩提川流末	7.0
菰川	菰川上流	5.0
菰川	菰川流末	8.0
岩井川	岩井川流末	4.0
佐保川	秋篠川合流点前	4.0
秋篠川	秋篠川流末	6.0
地藏院川	地藏院川流末	6.0
佐保川	額田部高橋	4.0
寺川	桜井市界	3.0
寺川	興仁橋	4.0
寺川	田原本町界	5.0
寺川	吐田橋	3.0
飛鳥川	甘樫橋	2.0
飛鳥川	榎原市界	3.0
飛鳥川	田原本町界	3.0
飛鳥川	保田橋	3.0
曾我川	東橋	4.0
曾我川	榎原市界	3.0
葛城川	桜橋	3.0

葛城川	大和高田市界	3.0
土庫川	大和高田市界	8.0
土庫川	土庫川流末	8.0
葛城川	枯木橋	8.0
高田川	葛城市界	3.0
高田川	細井戸橋	7.0
高田川	里合橋	5.0
岡崎川	昭和大桥	3.0
岡崎川	岡崎川流末	7.0
富雄川	生駒市界	3.0
富雄川	大和田橋	3.0
富雄川	大和郡山市界	3.0
三代川	三代川流末	7.0
竜田川	生駒市界	4.0
竜田川	平群町界	4.0
竜田川	竜田大橋	4.0
信貴川	信貴川流末	10.0
葛下川	大和高田市界	5.0
葛下川	香芝市界	3.0
滝川	上牧町界	3.0
葛下川	だるま橋	4.0

重点対策支川の水質(BOD75%値)の推移

凡例

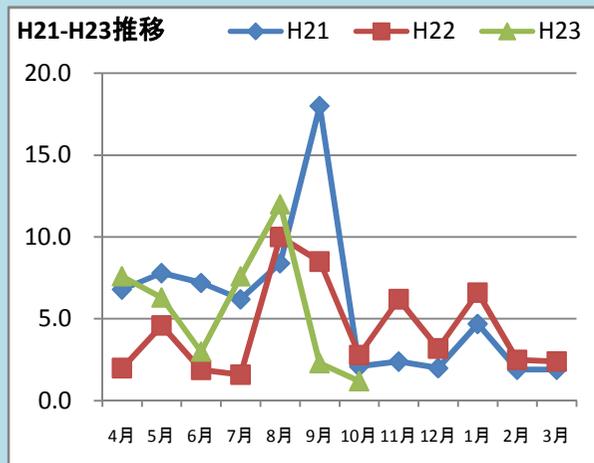
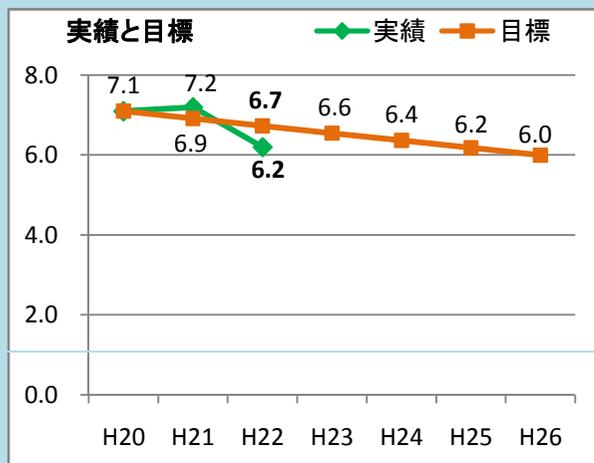
年度目標を達成
昨年度より改善

年度目標を達成
昨年度より悪化

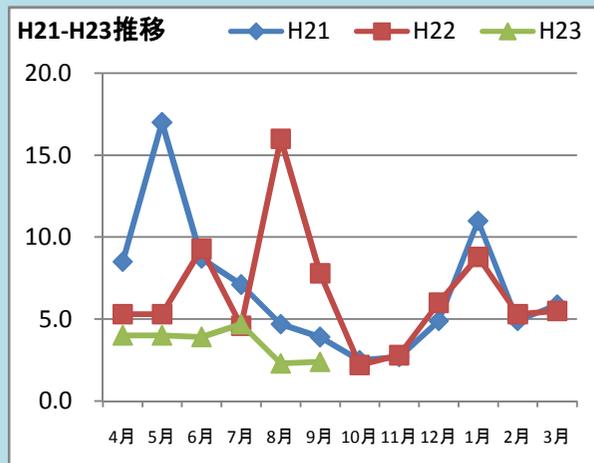
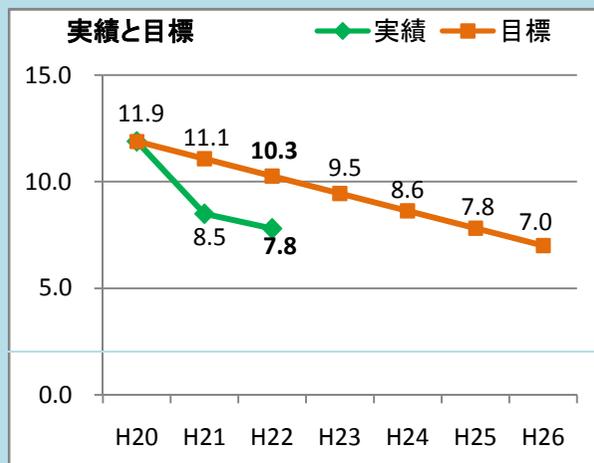
年度目標未達成

No.1

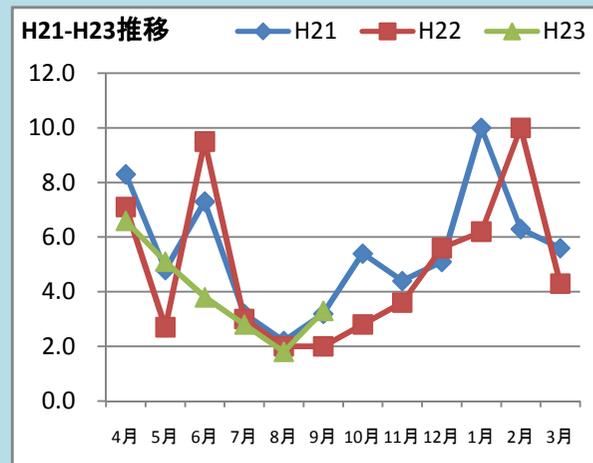
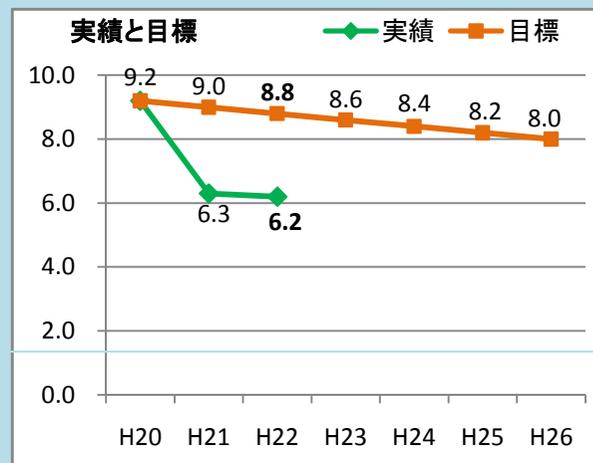
初瀬川【桜井市界】



菩提川【菩提川流末】



菰川【菰川流末】



重点対策支川の水質(BOD75%値)の推移

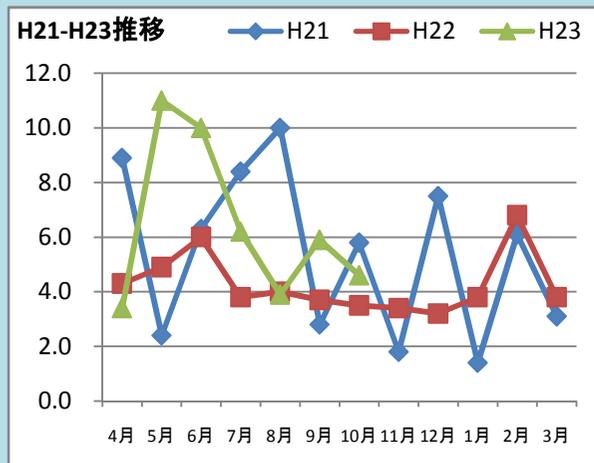
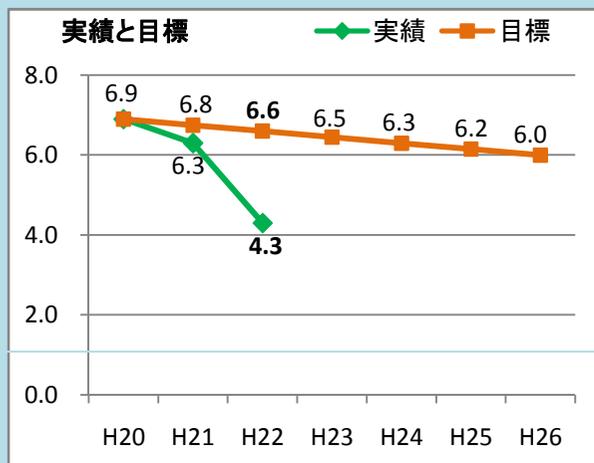
凡例

年度目標を達成
昨年度より改善

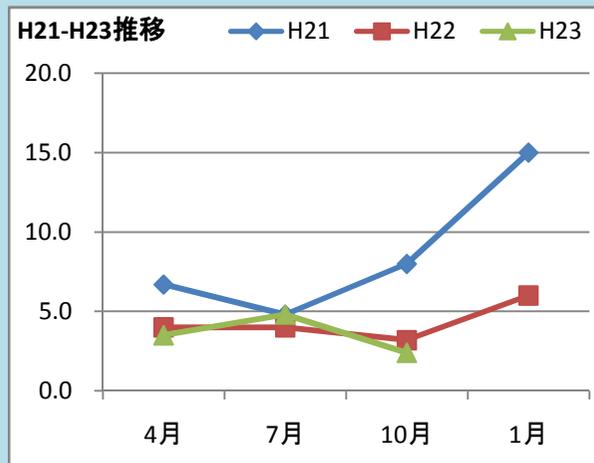
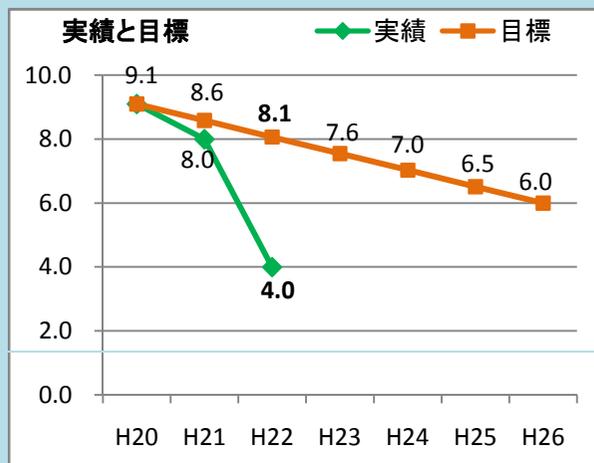
年度目標を達成
昨年度より悪化

年度目標未達成

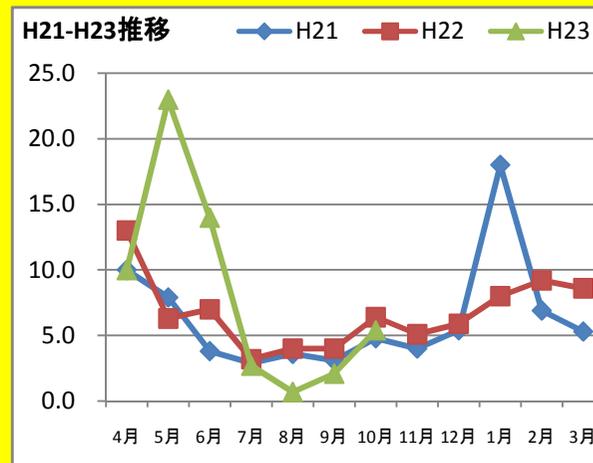
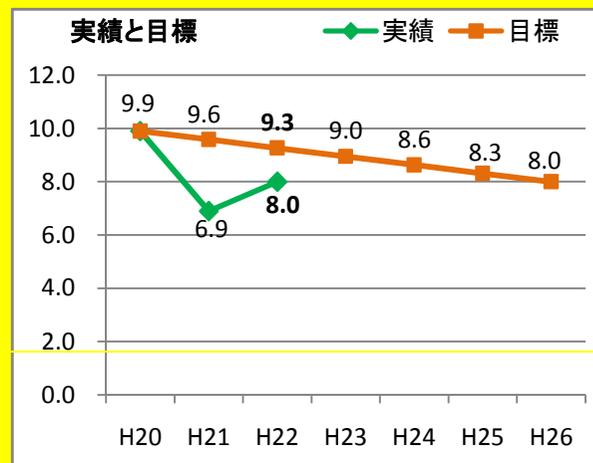
秋篠川【秋篠川流末】



地蔵院川【地蔵院川流末】



土庫川【土庫川流末】



重点対策支川の水質(BOD75%値)の推移

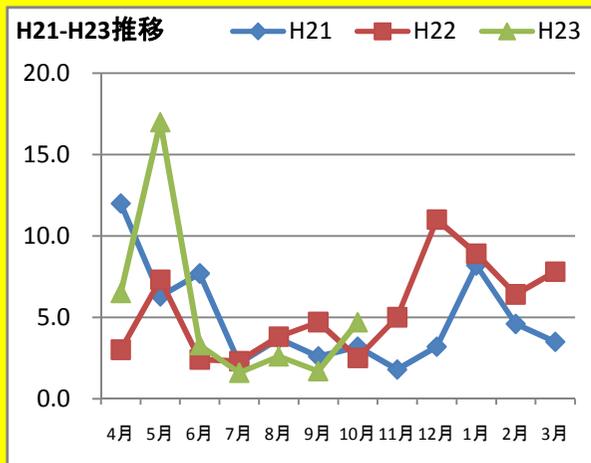
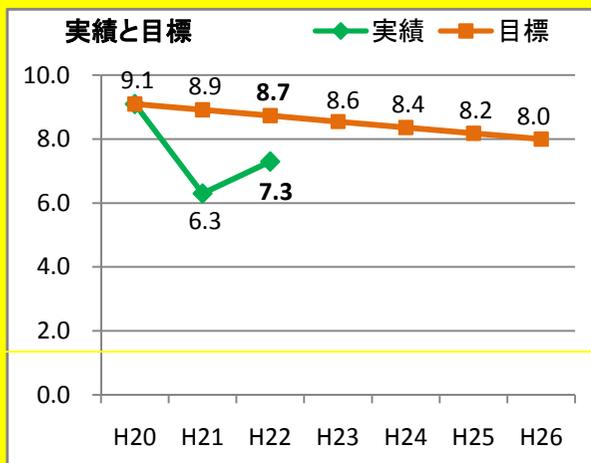
凡例

年度目標を達成
昨年度より改善

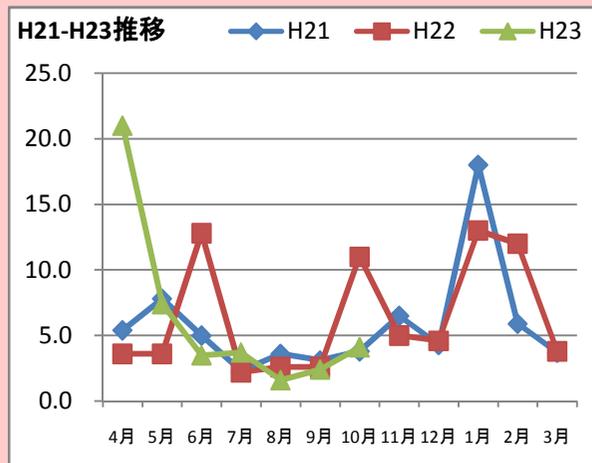
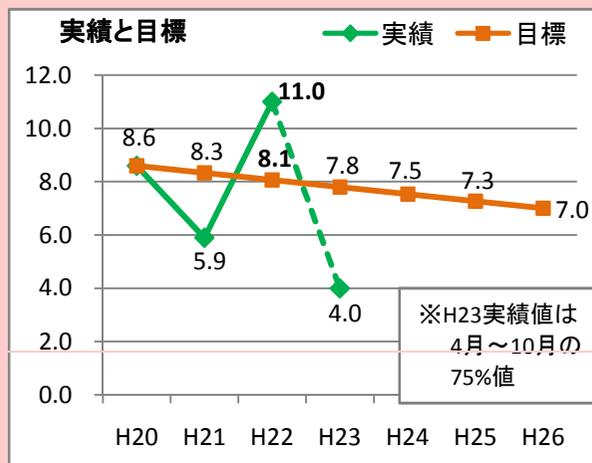
年度目標を達成
昨年度より悪化

年度目標未達成

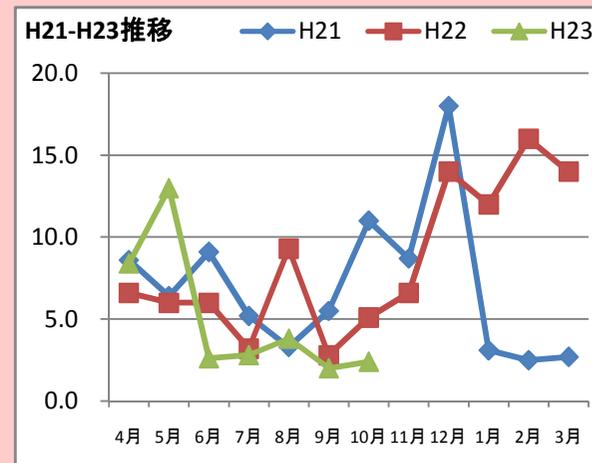
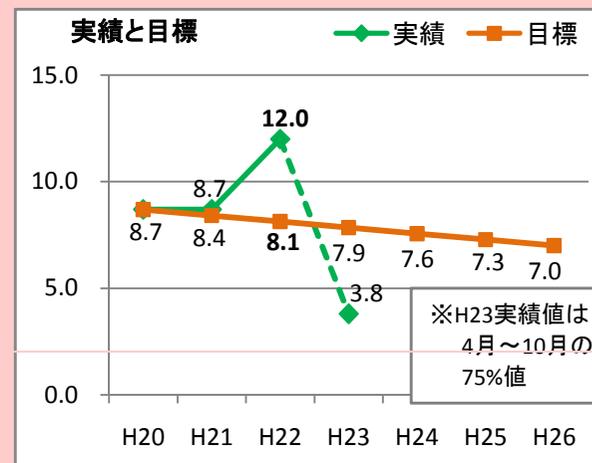
葛城川【枯木橋】



高田川【細井戸橋】



岡崎川【岡崎川流末】



重点対策支川の水質(BOD75%値)の推移

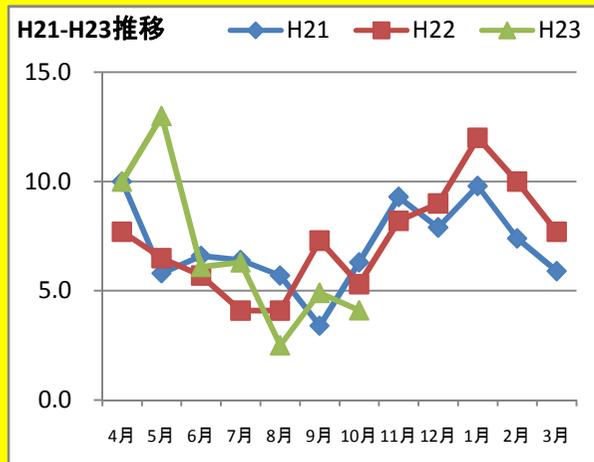
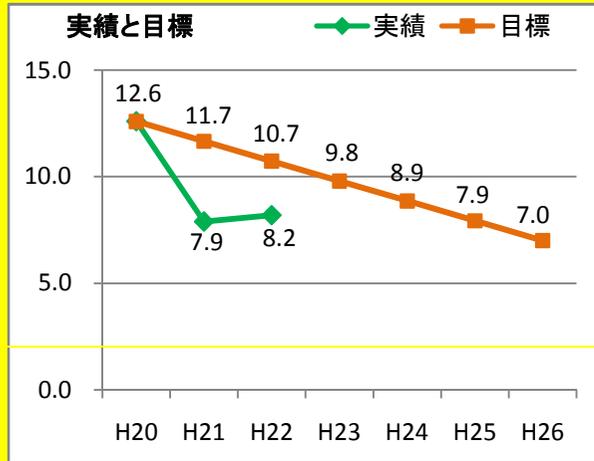
凡例

年度目標を達成
昨年度より改善

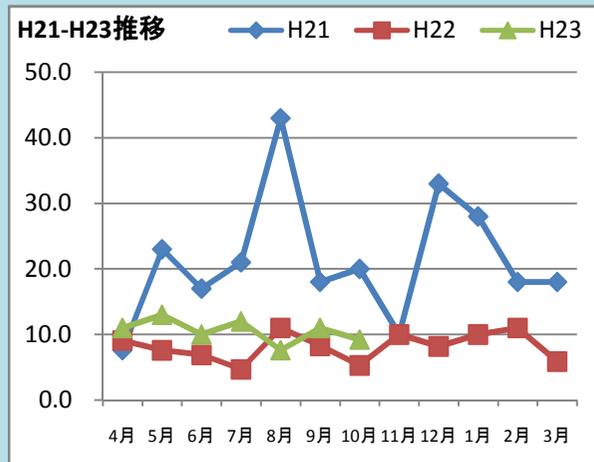
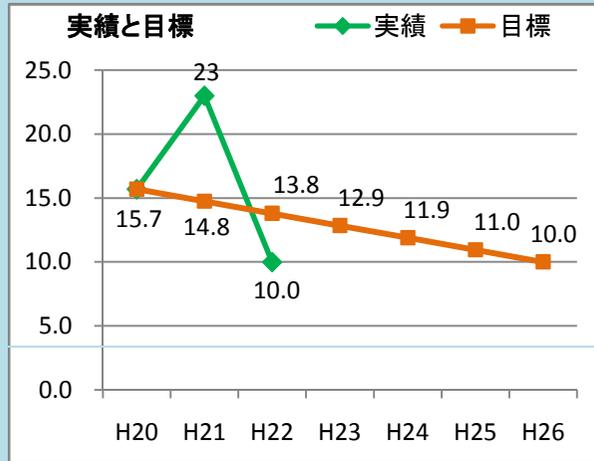
年度目標を達成
昨年度より悪化

年度目標未達成

三代川【三代川】



信貴川【信貴川流末】

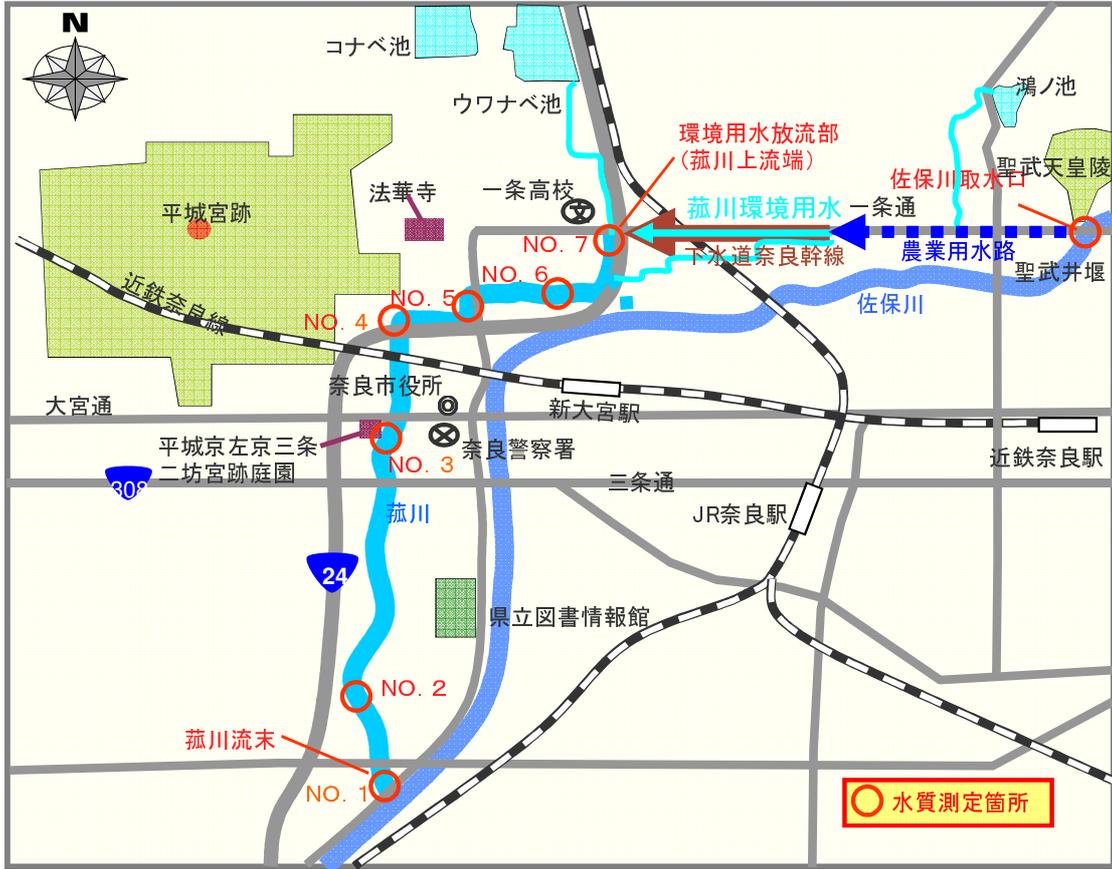


菰川環境用水導入社会実験の成果と課題について

～支川毎のきめ細かな対策事例～

1. 社会実験の概要

- ・佐保川からの農業用水の一部を、水利組合の協力のもと環境用水として有効活用
- ・奈良市と連携して20cmの導水管を布設して、平成22年1月30日より導水を開始
- ・導水後1年間、水質(BOD・SS・DO・PH・臭気(1箇所))・水量等を測定



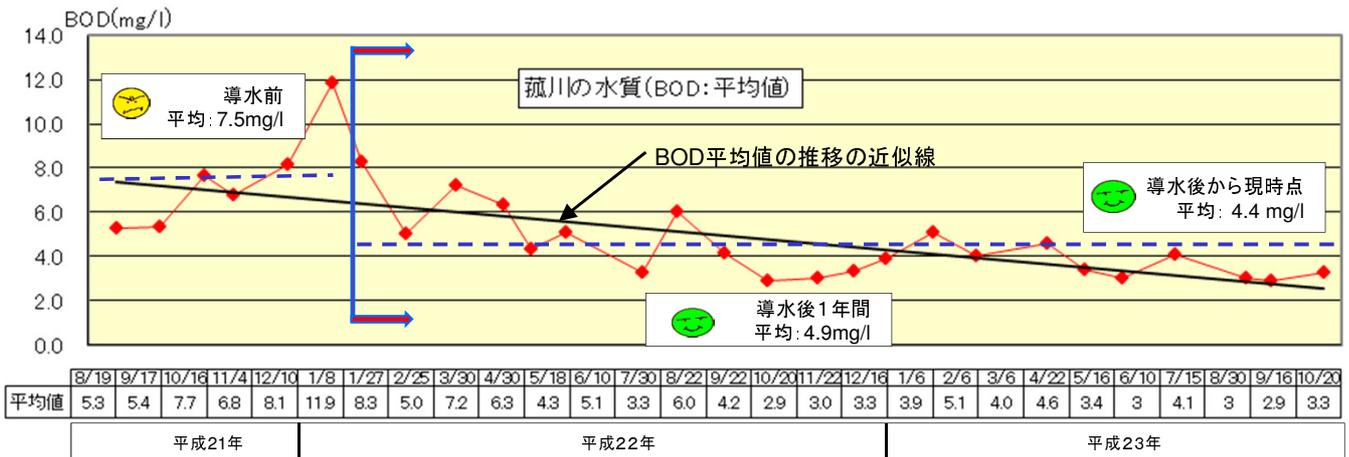
2. 実験の成果

1) 水質の変化

水質測定7地点平均値の導水前・導水後比較

導水後の水質は右肩下がり、日を追うごとに良くなる傾向

導水開始から現時点(H23.10現在)まで、BOD※は7.5mg/lから4.4mg/l(平均値)に改善

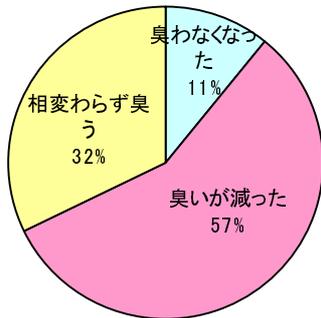


※BOD: 汚れを微生物が分解する時に必要とする酸素量で、mg/Lで表す。値が高いほど水質が悪い。

2)地域の皆様の受け止め(アンケートの結果)

地域の自治会長を対象に河川モニターをしていただき、22年7月にアンケートを先行実施しました。さらに11月には、地域の住民の方390名にアンケートを実施。(有効回答数N=267回収率69%)

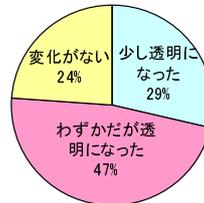
◎導水後の河川の臭い



11月には68%に増え改善されたと回答
(7月には59%の人が改善されたと回答)

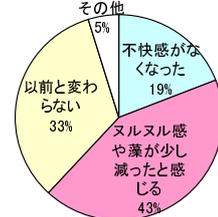
人が感じるような項目についても7月と同じく地域の自治会長に河川モニターをしていただきアンケートを実施

水の色への回答



76%の人が改善されたと回答
(7月には57%の人が改善されたと回答)

川底の感じへの回答



62%の人が改善されたと回答
(7月には39%の人が改善されたと回答)

導水後2年近くを経て、今後の河川改修に向けて今年度も地域の皆様のご意見を聞く予定です。

3)菰川の魚たち

◎平成22年11月3日、初めて「菰川一斉清掃」を行い、清掃活動のなかでいろいろな魚もを見つけました。今年度も11月3日に第2回目の一斉清掃を行いました。



ドンコ、ヨシノボリ、カワムツ、カワナ、サカマキガイの多様な生物が見つかりました。

ドンコ、ヨシノボリ、カワナ、カワムツは汚れた川に棲まない生物たちです。

3. 菰川環境美化協議会の発足

◎導水を契機に4自治連合(21自治会)と2水利組合からなる「菰川環境美化協議会」が発足

(平成22年1月30日)

- ・「菰川一斉清掃」等の、清掃活動を継続して実施
- ・河川環境改善に向けて花の植栽
- ・生活排水対策の啓発講座を実施
- ・菰川導水管の通水状況の監視、及び行政機関への連絡
- ・菰川の河川環境等について、情報発信(アンケート調査を通じた河川モニター)
- ・河川愛護意識醸成に向けた地域と連携した取り組み

4. 今後に向けて

- ・導水量アップなど、更なる改善に向けたきめ細かな対策の実施、及び情報発信に努めます。
- ・菰川環境美化協議会の活動をより一層地域に定着し拡げるため、協議会と連携した取組みを推進します。
- ・奈良市とも連携して、導水施設を恒久的な施設として有効活用を図るため、地域の皆さまとも相談しながら、河川改修計画へ結びつけます。
- ・地域に親しまれ、愛されるような川づくりを行っていくには、地域の方々の取り組みとの連携が不可欠であり、菰川での取り組みが全県に広がるように、その活動を効果的に情報発信します。

詳しくは、「大和川清流復活ネットワーク」専用のHPをご覧ください。

<http://www.yamato-river.net/>

大和川清流

検索

さらに

菰川日記

検索

地域ぐるみ・流域ぐるみでのとりくみ 大和川一斉清掃の実施

(3月第1日曜日)

～大和川一斉清掃～

《目的》全国水質ランキングワースト上位からの脱却を目指して、下流の大阪府と連携して20年度より、奈良県内でも市町村、地域活動団体・住民の皆様と、毎年3月の第1日曜日に実施。

《平成22年度は過去最高の参加》

○実施日時平成23年3月6日(日曜日)

○実施箇所数 流域20市町41箇所 約5,400人参加

市町村名	河川名	参加団体	参加人数 (名)	ゴミ回収量 (kg)	
奈良市	佐保川	大安寺西地区社会福祉協議会、奈良市職員	500	1,000	
	秋篠川	秋篠川源流を愛し育てる会、奈良市職員	30	100	
天理市	大和川	地域が育む川づくり事業参加団体【日誠建設(株)、弘陽建設(株)】、天理市職員	25	500	
大和郡山市	富雄川	やまと郡山環境を良くする市民の会	30	1,000	
		小泉町河原自治会	50	1,000	
生駒市	竜田川	山崎町自治会、生駒市職員	60	2,000	
	富雄川	高山町大北自治会、生駒市職員	30	1,000	
三郷町	大和川	三郷町建設業協会、三郷町職員	200	2,000	
斑鳩町	富雄川 【メイン会場】	町内地域住民の方々 斑鳩町職員	150	5,000	
	大和川		100	1,000	
	三代川		90	3,000	
			53	2,000	
	竜田川		223	1,500	
安堵町	岡崎川	安堵桜遊会(岡崎川に桜を育てる会)	50	1,000	
平群町	竜田川	竜田川ネット	5	200	
大和高田市	高田川左岸	大和高田商工会議所青年部、大和高田市職員	42	500	
御所市	葛城川	御所市地域婦人団体連絡協議会、御所地区更生保護女性会、御所地区青年会議所、ボランティアまどかグループ、御所市職員	110	500	
香芝市	葛下川	青年会議所、ボランティアぼちぼち、香芝市職員	36	140	
葛城市	葛城川	葛城市職員	102	1,000	
王寺町	大和川左岸	CCC活動団体、ボランティアグループ アクアグリーン	200	1,700	
広陵町	高田川	町内地域住民の方々 広陵町職員	2,600	11,800	
	葛城川				
	曾我川				
河合町	大和川左岸	河合町職員	39	150	
上牧町	—	—	—	—	
橿原市	寺川	中町自治会	109	180	
		田中町2区自治会	60	200	
	飛鳥川	万葉飛鳥川散歩道の会	26	110	
		葛本西自治会	18	20	
	米川	新賀町自治会	55	900	
		木原町自治会	9	80	
	高取川	大谷町自治会	46	720	
銭川	常盤町自治会	13	140		
桜井市	寺川	河西老人クラブ寿会	25	70	
		大和信用金庫	37	205	
	大和川	桜井市大泉山の辺町自治会	23	60	
		松之本自治会	31	500	
		大泉区自治会	62	370	
川西町	大和川	川西町職員	31	1,000	
三宅町	飛鳥川	三宅町職員	13	1,000	
田原本町	寺川	田原本町職員	30	2,350	
高取町	—	—	—	—	
明日香村	—	—	—	—	
20市町	約41箇所		計	5,413	46,995

太字は重点対策河川



平成22年度メイン会場 富雄川斑鳩町地内の様子

平成23年度は高田土木事務所管内を予定しています。

皆様の積極的なご参加をお願いします。

今年度は広報活動等、市町村の皆様とより一層連携した取り組みを進めたいと思いますので、ご協力をお願いします。

～地域ぐるみ・流域ぐるみでのとりくみへの支援～

《目的》

地元自治会等の団体が自主的に実施する、草刈・清掃の地域美化活動を支援します。

地域が育む川づくり事業

《重点対策河川での活動団体》

初瀬川：松之本自治会、大泉区自治会
 菩提川
 菰川
 秋篠川
 地蔵院川
 土庫川
 葛城川
 高田川：東室自治会、西室自治会
 大字安部区
 岡崎川：安堵桜遊会
 三代川：三代川愛護会
 信貴川

河川美化愛護団体支援事業

《重点対策河川での活動団体》

初瀬川：山の辺町自治会
 菩提川
 菰川：菰川環境美化協議会
 秋篠川：秋篠川源流を愛し育てる会
 地蔵院川：南永井北之町自治会
 土庫川
 葛城川：新村自治会
 高田川：南藤井区、大野自警団、笠12組、
 相生2丁目自治会、寺戸平和子ども会、
 大野子供会
 岡崎川：
 三代川：
 信貴川

皆様の積極的なご参加をお願いします。



地域ぐるみでのとりくみ

川の彩り花つつみ事業

地域と連携して河川を花で彩り、憩いと潤いのある河川空間を創出。

H22年度 パイロット事業として次のモデル地区で先行実施

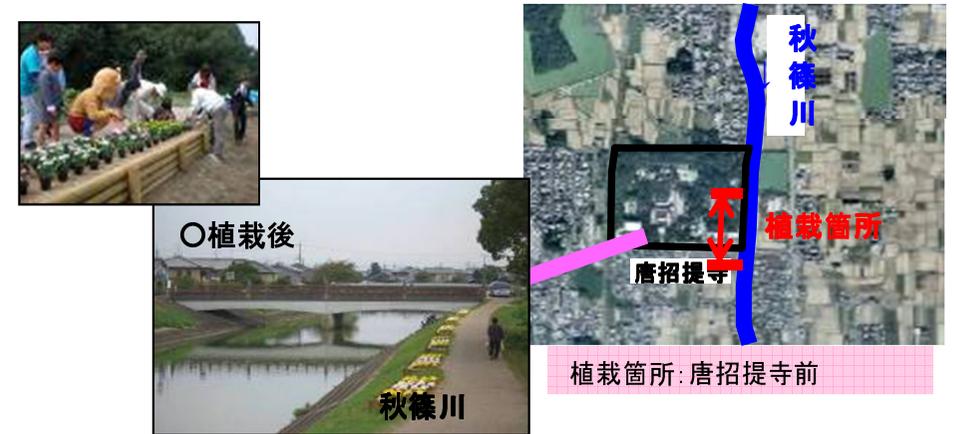
○佐保川（モデル地区）

大規模な清掃活動等、河川美化愛護への意識が高く、地元自治連合会(21の自治会)により主体的な維持管理が行われている。



○秋篠川（モデル地区）

遊歩道整備と併せて、地元による桜の植樹等、河川美化への関心が高く、地元自治会により主体的な維持管理が行われている。



皆様の積極的な参加をお願いします。

佐保川・秋篠川をモデルケースに取り組みの輪を拡げ、より一層良好な河川空間の創出を図っていきます。



岡崎川

昭和工業団地協議会



菩提川

菩提川をよごさない会



高取川

五井町自治会



飛鳥川

万葉飛鳥川長寿散歩道の会



大和川定期預金を通じた 地域の「心」の活性化に向けて

大和信用金庫

大和信用金庫について

■ 企業紹介

- ・本店：奈良県桜井市桜井281-11
- ・昭和23年創立 平成20年に創立60周年を迎えた。
- ・奈良盆地を中心に、20店舗を擁する。
- ・23年3月末 預金量4,674億円 貸出金1,872億円

■ 桜井市の歴史的背景など

- ・大和民族が古代ヤマト王権を建てた、日本史の第1ページを飾る日本文化発祥の地。
- ・邪馬台国卑弥呼の遺跡!? 「纏向遺跡」「箸墓古墳」
- ・大化の改新の舞台「談山神社」
- ・吉野杉・桧をブランドとした材木業、三輪そうめん

■ CSR(企業の社会的責任)としての意識

- ・平成15年「男女雇用均等推進企業 奈良労働局長賞優良賞」受賞
- ・平成20年「県社員・シャイン職場づくり推進企業第1回知事表彰」受賞



大和川について



■ 沿革

- ・大和高原を源流とし、奈良盆地のほぼ全域を流域とし、大阪平野を西に横切って大阪湾に注ぐ、全長68キロメートルの一級河川。

■ 歴史の中で

- ・推古16年(608年)遣隋使・小野妹子を送って来朝した裴世清ら一行が、難波津から船で大和川をさかのぼり、三輪山麓の海石榴市(つばいち)に上陸、飛鳥の宮に至って、1400年余り。

■ 水質の悪化

- ・全国一級河川の中で、水質の悪さ → 平成17年、18年、19年、**3年連続ワーストワン**
- ・原因→流域人口の増加、高度経済成長における工場進出、年間降水量が少ない
最大の要因は、家庭からの生活排水(要因の80%)といわれている。

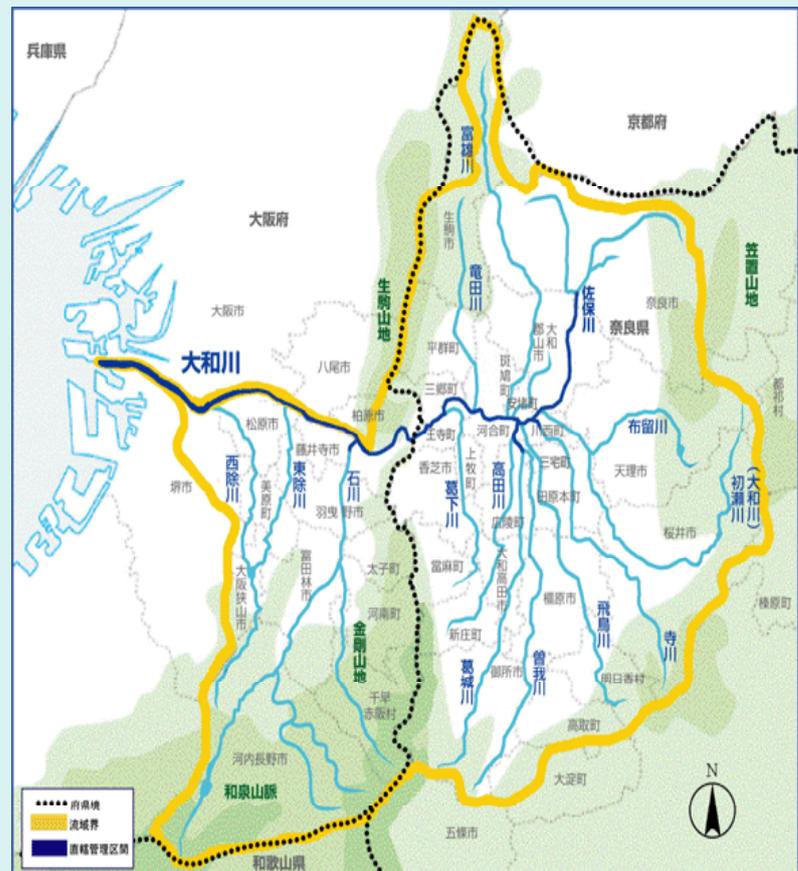
■ 現状の水質と地域住民の思い

- ・大和川=汚い、臭い 反面、大和川の清流を取り戻そうという活動も広まっている。
- ・年々、水質は改善されている。

(平成18年及び19年のBOD値=4.7mg/ℓ 20年=3.7mg/ℓ⇒**全国ワーストワン脱却!**
21年=3.2mg/ℓ で全国ワースト3位 22年=2.8mg/ℓ で全国ワースト4位)



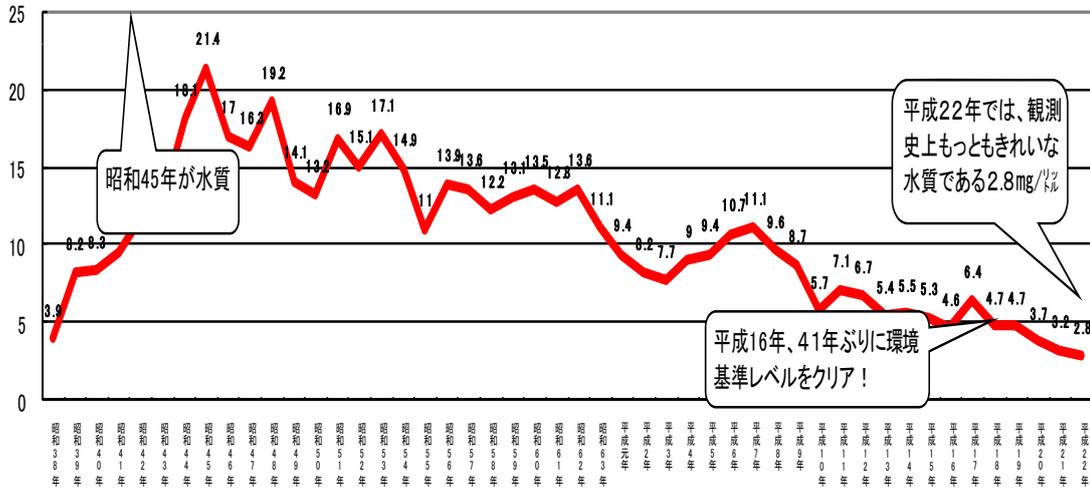
大和川の流域



大和川水質の経年変化グラフ

BOD(mg/L)

大和川の水質は年々改善されています。
(大和川水質の経年変動グラフ)



BOD値とは＝生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)のこと。主に河川や下水、排水の汚れを測定する数値。環境基準は5mg/L。



5

当金庫のCSR活動と大和川の関わり

■ CSR活動について

- ・信用金庫の存在意義＝地域のために、地域の発展に貢献する。
- ・平成16年12月に、CSR検討委員会設置→現在、CSR委員会
毎月、委員会開催。20年7月より各支店からCSR連絡委員を選出
- ・テーマ

『Next Generation ～未来へ～』次世代のために、私たちは歴史と環境を大切にします。

- ・活動内容 ⇒ 地球温暖化防止へのクールビズ・ウォームビズ、ハイブリッドカーの導入、少子化対策・子育て支援のための商品「ANGEL PLUS ONE」、「こども110番」活動、護身術セミナーの開催、小学生への金融教育、AEDの全店設置、「認知症サポーター養成講座」の受講、エコ検定の受検、奈良県ストップ温暖化推進委員の受託、マラソン大会への協賛、清掃活動、太陽光発電設備への無利子融資創設、桜井本町通り・周辺まちづくり協議会への参画など。

■ 大和川との関わり

- ・テーマに沿った商品企画を → 奈良県の環境問題における課題 ⇒ [大和川の水質改善](#)
- ・支店網 = 大和川流域
- ・「大和川生活排水対策社会実験」への参加・協力
- ・奈良県主催の「暮らしと環境フェスティバル」パネルディスカッションに出席



6

「大和川定期預金」の商品内容

■ 商品内容

- ・BOD値の改善度合いによって、定期預金の金利を上乗せ
(平成23年の場合)
各ご家庭での生活排水削減を期待し、一律0.1%上乗せ
さらにBODの基準値より改善すれば、0.1%を追加で上乗せ
- ・粗品は「水切りネット」及び「アクリルタワシ」を採用
「水切りネット」は地元企業の製品であり、「2006年 奈良・グッドデザイン人にやさしいデザイン賞」受賞商品を採用
「アクリルタワシ」は地元婦人会による手作りを一部採用

■ 定期預金の推進に際して

- ・趣旨説明の上、各家庭での生活排水削減を呼び掛けた。
①食事は食べる分量だけ作り、残らないようにする。②食器やフライパンなどの汚れは拭き取って
から洗う。③食べ残しや残りクズは流さず三角コーナーかゴミ箱へ入れる。等

■ 結果

- ・平成18年のBOD値が4.7mg/ℓとなったことから、定期預金は0.5%の金利上乗せを実現
- ・平成19年は4.7mg/ℓと変わらず → 金利上乗せできず → 大和川基金へ追加出資
- ・平成20年、21年、22年いづれも観測史上最良の水質に → 毎年0.5%の上乗せ実現



大和川定期預金の反響と成果

■ マスコミでの紹介

- ・発売当初から、新聞各紙をはじめ、テレビやラジオ等のマスメディアで紹介をいただく。

■ 環境各賞の受賞について

- ・平成19年2月 フジサンケイグループ主催「第16回地球環境大賞<フジサンケイビジネスアイ賞>」
- ・平成19年3月 三重県主催「第5回日本環境経営大賞<環境プロジェクト賞>」



- ・平成19年6月 関西広域機構主催「平成18年度関西エコオフィス奨励賞」
- ・平成19年12月 日本フィランソロピー協会主催「第5回企業フィランソロピー大賞<地域環境賞>」
- ・平成20年4月 (社)日本河川協会主催 第10回日本水大賞<奨励賞>
- ・平成20年5月 第11回 信用金庫社会貢献賞<特別賞>
- ・平成20年6月 平成20年度 奈良県環境保全功労賞
- ・平成21年2月 第1回経営者「環境力」大賞を柳田理事長が受賞
- ・平成22年6月 第1回いきものにぎわい企業活動コンテスト 審査委員特別賞



その他の活動について

■ 「大和川基金」による大和川源流体験ツアー

- ・第2回大和川定期預金より「大和川基金」を組成
 - ⇒ 募集預金残高の0.01%を金庫から出捐 + 金庫役職員の自由意志による出捐
- ・大和川の再生・水環境の改善に向けた取組みに対して、資金を拠出
- ・奈良NPOセンターとの連携により、子どもたちを中心に大和川の源流体験ツアーを過去5回実施
- ・その他、大和川水質改善啓発ポスターコンクール、大和川再生フォーラムを開催
- ・今後も、大和川サミットのような啓発活動を通じて、大和川の再生を目指す。

■ 大和川生活排水対策社会実験への協力

- ・1週間程度の社会実験期間を定め、その前後での水質の改善度を確認。
- ・各家庭での生活排水を抑えてもらうよう呼び掛ける。

■ 大和川一斉清掃への参加

- ・地域の清掃活動に参加し、多くの職員が汗を流した。

■ 大和川市民ネットワークなどへの参加

- ・行政と民間、奈良県(上流)と大阪府(下流)、企業と市民(NPO)、大学など、各分野間の連携を図るべく、市民が中心となってネットワークを構築する。東京、綾瀬川水質啓善ネットワークとの交流も
当金庫 → 奈良県の企業代表として、ネットワーク副代表に就任
- ・奈良県内での「大和川清流復活ネットワーク」にも参画



9



地域への想い

■ 地域金融機関ならではの取組み

- ・大和川の水質改善に向けた取組みの実践を呼び掛けることにより、地域と一体となり、地域の人と共に、活動の輪を拡げている。
- ・これこそ地域金融機関ならではの取組みといえる。

■ 「大和は国のまほろば」

「大和は 国のまほろば たたなづく 青かき 山こもれる 大和し 美し」
(ヤマトタケルノミコト望郷の歌 『古事記』より。歌碑が桜井市の三輪山麓に建立)

「『大和は国のまほろば』と詠われているように、日本のふるさとです。国のまほろばである大和の国の大和川がきれいになるということは、日本がきれいになるということではないかと思えます。」

(テレビのインタビューでの柳田会長の言葉)
この想いが地域に拡がれば、と願っています。



10



「つながり」の拡大から、地域の活性化へ

- 経済の変質 ～拡大発展から、縮小均衡へ～
高度経済成長期 → 人口減少・少子高齢化 → 経済規模の拡大鈍化
- 経済発展で失われてきたもの
環境破壊 地域社会における人の「つながり」 失われた10年
- 地域の環境を見つめ直す機会に
「大和川」の実態認識 → 身近な環境問題への関心 子から親へ
- 人々の「つながり」を強め、地域活性化へ
「川は人の心を映す鏡」 清掃活動で地域の方々と汗を流す
全国信用金庫協会の3カ年計画の理念→「信用金庫が持つ『つなぐ力』をさらに進化させ、会員をはじめ地域の様々な主体との連携を一段と強化し、地域の持続的な発展を目指す。」
様々な「つながり」の拡大から、地域の心の活性化へ



街・人・命を繋ぐ川

自然と人間のより良い共生をめざして

大和信用金庫からの寄付金を活用した

「大和川の水質改善事業」

報告

飛鳥川の源流

事業の目的

橿原市、明日香村、桜井市、田原本町を流れる大和川水系河川の生物調査を通して、大和川上流域の河川環境の評価を行う。

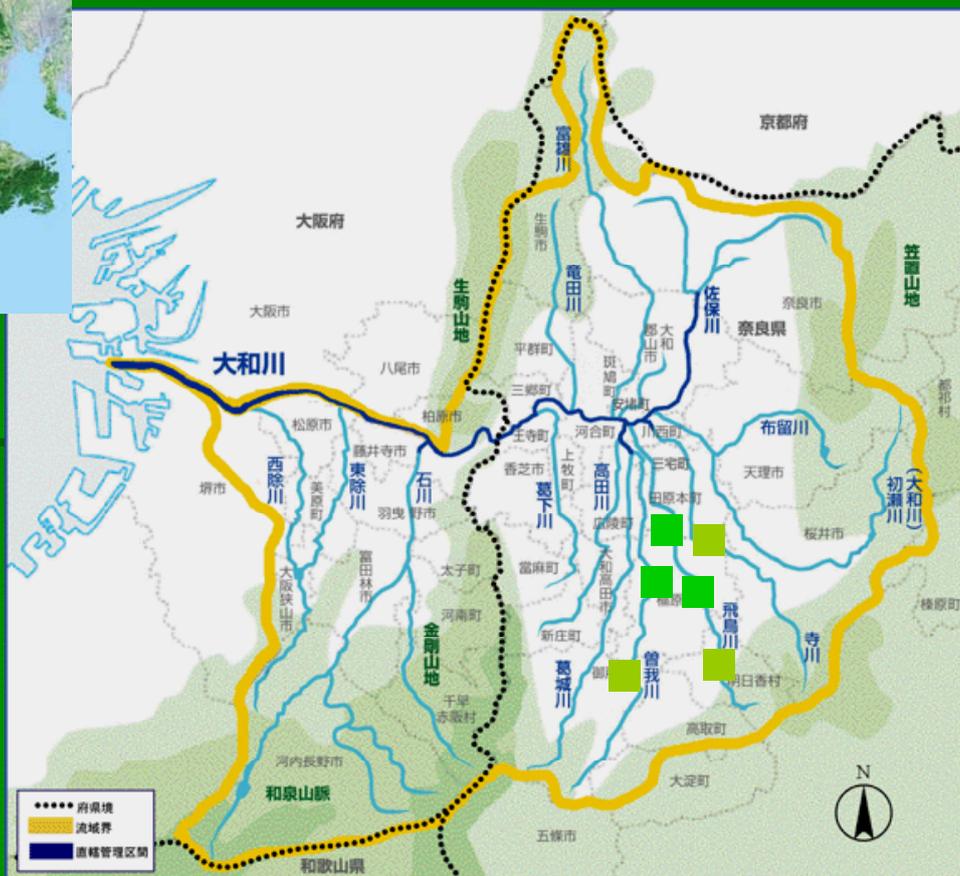
そして、その結果を広く流域住民に知ってもらうためにポスターやリーフレットによって公表する。

調査内容

- 調査河川
飛鳥川・寺川・曾我川・高取川
- 調査期間
2011年7月～2012年2月
- 調査方法

調査参加者は、広報活動により調査対象河川の住民や学校に呼びかけ募る。そして、タモ網での採集や河床での観察によって生息・自生種を確認し定性データとする。また、河床に生息する水生動物等についても可能な限りコドラード法により定量的データの取得に努める。

調査河川



調査結果

■ 飛鳥川調査



神奈備の郷上池、栢森地区



下池と調査の様子

■ 寺川調査



絶滅危惧種Ⅱのメダカ



砂地にすむカマツカ

■ 高取川調査



ギギ



カワムツ



ドンコ

■ 曾我川調査



調査の様子



スクミリンゴガイの駆除についての講演(御所実業)



外来種のアカミガメ



タイコウチ

調査結果

種	コイ	ギンブナ	カワムツ	オイカワ	ドンコ	メダカ	カマツカ
河川名							
飛鳥川	○	○	○	○	○	○	○
寺川	○	○	○	○	○	○	○
高取川	○	○	○	○	○	○	○
曾我川	○	○	○	○	○	○	○

種	アブラハヤ	ナマズ	アユ	タウナギ	アブラボテ	タモロコ	ギギ
河川名							
飛鳥川	○	○	○	○		○	○
寺川		○		○	○		
高取川		○		○		○	○
曾我川	○	○		○			○

種	カワヨシノボリ	トウヨシノボリ	シマドジョウ	ドジョウ	ムギツク		
河川名							
飛鳥川	○	○	○	○	○		
寺川	○	○		○			
高取川	○	○		○			
曾我川	○	○		○			

種	アメリカザリガニ	スジエビ	サワガニ	リンゴガイ	カワニナ	シジミ	ヒメタニシ
河川名							
飛鳥川	○	○	○	○	○	○	○
寺川	○	○	○	○	○	○	○
高取川	○	○		○	○	○	○
曾我川	○	○		○	○	○	○

種	タイコウチ	ミスカマキリ	ヘイケボタル	ゲンジボタル		
河川名						
飛鳥川	○	○	○	○		
寺川	○					
高取川	○					
曾我川	○	○				



種	アカミミガメ	クサガメ	ニホンイシガメ	ニホンスッポン		
河川名						
飛鳥川	○		○	○		
寺川	○		○	○		
高取川	○		○	○		
曾我川	○	○	○	○		



ニホンスッポン



ニホンイシガメ

まとめと考察

- 4河川とも、同一種の水棲動物が多く生息している。
- 飛鳥川については、アブラハヤが生息している。上流域の生息環境が保全されている。
- 曾我川・飛鳥川でのアユは、大和川から遡上したとは考えにくい。
- ゲンジボタルが観察できたのは飛鳥川のみであるが、そのエサとなるカワニナは全ての調査河川で確認できた。

調査河川ではほぼ同様種が観察されたことから、それぞれの河川の水質や構造にそれほど大きな差がないと考えられる。そして、淡水魚類から見るとその水質は大きく改善されている。残念ながら種の多様性から見れば1990年には、橿原市内で見られた淡水魚は30種ちかくであったが今回の調査では19種と11種も減少している。この原因については、画一化された河川構造が第一に考えられるが、詳細については今後の調査が必要である。

飛鳥川については、今後の改修工事の経過を慎重に観察する必要がある。アユの侵入ルートの調査や各種のDNA分析による解析も必要と考える。また、河川構造も自然構造を組み入れ生物が定着しやすい河川を造る必要がある。

データ整理と公表

地域住民や学校の児童・生徒によりデータを整理し資料を作成し調査発表会を行う

発表会

日時 2012年2月18日(土)

午前10時～午後3時

場所 橿原市昆虫館 研修室1

配布資料 橿原・明日香地域の生き物ブック

参加団体

NPO法人ASUKA自然塾、畝傍中学校、聖徳中学校

NPO法人飛鳥の未来を創る会、御所実業高校、橿原市環境政策課、

橿原市昆虫館、日本野鳥の会奈良支部

支援団体

(株)コメリ、奈良県桜井土木事務所、大和信用金庫